



皆さん、酷暑の夏をいかがお過ごしでしょうか。最近気温が30℃前半だと、どこか涼しく感じてしまっている自分に気がつき、びっくりしています。今号の写真は、先月の赤城自然園で撮ったシキンカラマツ（紫錦唐松）です。キンポウゲ科カラマツソウ属に分類されています。他のカラマツソウの仲間と同様に花弁はありません。赤紫色の花弁状は、花弁ではなくて萼片です。黄色に見え

ているのは雄シベと雌シベです。他のカラマツソウ仲間は、萼片は開花時に脱落します。シキンカラマツは開花後も萼片は脱落せず、このように赤紫色の花弁のような姿で美しい姿で楽しませてくれます。黄色のシベも華やかさをより演出してくれます。このシキンカラマツ、菅平の湿原にも咲くそうで、ぜひ来年はそちらにも行ってみたいと思っています。今回の赤城自然園で、新しい楽しみを見つけました。シラネアオイの大群落です。もちろん花は終わっていましたが、最盛期の姿を想像するだけでワクワクします。見頃が4月下旬から5月中旬ということなので、こちらも来年が楽しみです。

慰霊の8月です。僕は戦後生まれですが、子供心に深く刻まれた「戦争」の記憶があります。ラジオから流れる「尋ね人の時間」というNHKの番組でした。戦時や戦後の混乱の中で散り散りになった兵隊仲間や知人、友人を探すという番組でした。この番組が流れるとラジオの前から離れられず、子供心にとっても切ない気持ちで聴いていました。8月の終戦の日を迎えるといまでも、この放送が思い出され、あの頃のラジオの前の自分の気持ちに帰っていくようです。

そんな8月ですが、15日の「全国戦没者追悼式」での高市首相の式辞です。「戦争の惨禍を二度と繰り替えさせない」との表現には受け入れ難い違和感があります。1945年8月15日のポツダム宣言受け入れによる無条件降伏・敗戦に至る足掛け15年にわたる戦争は、1931年の綿州への日本軍の侵略から始まって1941年の真珠湾攻撃からの米英との太平洋戦争と東南アジア侵略にいたるまで、日本による侵略戦争です。にもかかわらず、高市首相の発言は、まるで他者のせいでもあるかのようです。高市首相はかつて議員時代に、「反省なんかしておりませんし、反省を求められるいわれもない」と先の大戦への日本の責任と反省に異を唱えていました。首相は、先の大戦を「侵略」ではなく「自存自衛の戦争」と主張しています。この主張、どう言いくるめようと歴史の捏造・修正としか言いようがないでしょう。自分の都合の良いものしか見ない、都合の悪いことはなかったことにするという御都合主義的な歴史観には暗然とします。歴史には光も闇もある。その全てを認め、受け止める姿勢が、いまこそ求められていると強く思っています。

さて10月の確定表をお送りします。今年はどんな紅葉が待っているのでしょうか。夏を楽しんだ後は、爽やかな秋晴れの下で山を歩きたいですね。10月の最後は、定番ですが、一ノ倉沢の紅葉ハイクです。うまくすれば三段染で会えるかも！？

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！